平成30年度開設予定学部一覧

_1 学部を設置するもの 6校 平成29年11月

日日大学 メディア学科 140 本京都が超低 学校主人 日日大学 メディア学科 140 本京都が超低 学校生人 日日大学 メディア学科 140 本京都が超低 学校主人 日日大学 イギ・アン・電子 日日大学 イギ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	1	字部を設置する	ももの	6校												半成29	<u>年11月</u>
	区分	大	学 名	学部・学科等名			置	設	置	者	留	意	事	項	備	考	
・図書については、選字課程にふさわしい図書館機能を確 様・解検することができるように、予定されている大成な策 書のが見べいしている。文学機関に変わる選携が動きを過まえる事任教 最数の別的が高いことから、文学機関の関を保護まえ活動句 な選択に努わるととした。教養機関機関の何未検査について 素実に実施すること。 ・評議員の構成が法人職員でグループ法人職員に偏っている ことから、私力工程を検別にごとから、同様付 他面影り展布でよ。・評議員の構成が法人職員でグループ法人職員に偏っている ことから、私力工程を放の随きを耐まえ、その構成について計 面影り集布でよ。 ・評議員の構成が法人職員でグループ法人職員に偏っている ことから、私力工程が成の関連を耐まてという。 ・評議「おの課金」を設定することがあら、同様付 タフェーを受験する手校法人に比べて低いことから、同様付 会の字字への選示に取り組むこと。 ・「おしてア学報 またまでする」を配置することを内臓目の放気内的 を収めることにより、教育課程を大変できるよう。新たに科目、社会学部 メディアを禁ぎため、を配置することが配置目の意味の関係を ではあることにより、教育課程を大変できるよう。 ・「ドラティア実践演書3、4」について、後は大変できる ・「ドラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 中型は影響できることから、 ・「ドラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 ・「ドラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 ・「ドラティア実践演書3、4」については、4年次前側の第一次 ・「ドラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 ・「ドラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 ・「ドラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 ・「アラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 ・「アラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 ・「アラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 ・「アラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 ・「アラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 ・「アラティア実践演書3、4」については、4年次前側の前 ・「アラティア実践演書3、4」については、4年次前側の第一次 ・「対象が企業を含むこと、 ・「北京を含むこと、 ・「北京を含むこと、 ・「北京を含むこと、 ・「北京を含むこと」	私立	日本ウェルネス	スポーツ大学	スポーツプロモーション学科		茨城県北相馬	馬郡利根町				えると、スポート、ションを と、スポート、ションに 日本 4 4 カーツーグ が 数、 「 教育 の 更な ・ スタンオーマージ スタンオーマるき かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう	ツ、	いや が で い か い か い か い か い か い か い か い か い か い	-ディスー めきている できる できる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	スポーツプロモーション学科(通信教育	課程)[定員減]	
国教の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切 な選用に努めるととには、教育組織機制の将来機能について 素実に実施すること。 ・評議員の構成が法、随殿やグループ法人観責に偏っている ことから、私立学校技の健康を踏まえ、その構成について計 問遇り見取すこと。 ・学生生態等的付金に対する経常的経費支出の割合が同系統 の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付 金の学生への返元に取り組むこと。 ・学生生態等的付金に対する経常的経費支出の割合が同系統 の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付 金の学生への返元に取り組むこと。 ・学校法人 自白学園 ・本学から示されたメディア学を学ぶためる基盤となる社会 学に関する知識を予かに移行さるよう、新たに料目(1会 ・学に関する知識を予かに移行さるよう、新たに料目(3年 ・メディア表現学科(廃止) ・メディア学科 ・ 本学から示されたメディア学を学ぶためる基盤となる社会 ・に関する知識を予めている人が記憶を受け、 ・ 「情報ネットワーク論」について、基礎的な理論を学校す る演義科目として、十分な教育を確実に行うこと。 ・ 「メディア実践演習3、4」については、4年次前期の前 半及び後すで、それぞれ集中的に学修するとあることから、 ・学生が学習目標や保護計画を正して、保護したと関係できるよう、シラバスを元果させること。 ・ 民政校の合後の定員商元足の任り方について検討し、定員未 元見の改善に取り組むこと。											・図書について 保・維持するこ。 書の入替えや新	は、通学課程にる とができるように	こ、予定されてし	る大幅な蔵			
プラス (公立) (公立) (公立) (公立) (公立) (公立) (公立) (公立)											員数の割合が高い な運用に努める。	いことから、定年 とともに、教員組	F規程の趣旨を路	まえた適切			
の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への選元に取り組むこと。 ** ** ** ** ** ** ** ** **											ことから、私立ち	学校法の趣旨を路	レープ法人職員に 皆まえ、その構成	に偏っている なについて計			
日白学園 学に関する知識を十分に修得できるよう、新たに科目(社会学理論、社会学史等)を配置することや関連科目の授業内容を改めることにより、教育課程を充実させること。 「情報ネットワーク論」について、基礎的な理論を学修する講義科目として、十分な教育を確実に行うこと。 ・「メディア実践演習3、4」については、4年次前期の前半及び後半で、それぞれ集中的に学修するとあることから、学生が学習目標や授業計画を正しく理解した上で履修できるよう、シラバスを充実させること。 ・ 氏股校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。											の大学等を設置	する学校法人に出	とべて低いことか				
る講義科目として、十分な教育を確実に行うこと。 ・「メディア実践演習3、4」については、4年次前期の前 半及び後半で、それぞれ集中的に学修するとあることから、 学生が学習目標や授業計画を正しく理解した上で履修できる よう、シラバスを充実させること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未 充足の改善に取り組むこと。	"	目白大学			140	東京都新宿區	×				学に関する知識 学理論、社会学	を十分に修得でき 史等)を配置する	きるよう、新たに ることや関連科目	:科目(社会 の授業内容	メディア表現学科 (廃止) (3年次編入学定員)		
半及び後半で、それぞれ集中的に学修するとあることから、学生が学習目標や授業計画を正しく理解した上で履修できるよう、シラバスを充実させること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。																	
充足の改善に取り組むこと。											半及び後半で、 学生が学習目標	それぞれ集中的に や授業計画を正し	学修するとある く理解した上で	ことから、			
											充足の改善に取	り組むこと。		けし、定員未			

区分	大 学 名	入 ² 学部・学科等名 定 ¹		位	置	設	置	者	留	意	事	項	備	考
私立	京都外国語大学	国際貢献学部 グローバルスタディーズ学科 10 (3年次編入学定員) グローバル観光学科 12 (3年次編入学定員)	0 10	京都府京都市		学校法人	国語大 ^会		Fublic Econome Fubl	ics」 ics」 ics」 ics」 ics」 ics」 ics) ics ics) ics ics ics) ics	、となめとと う科目入お 学るうわ程句 いめ類光(当親:ことなめとと う科目入お 学るうわ程句 が修 一科門かい 常教符と 環や的学必と 一目家らい 常教符と 「ならしたて 及修目る数の どる観口 が科ら、 一連修でを 環や的学必と 一目家らい 常教将よ 一種の かいことも観 動音来 動音来 動音来 かいことも観 動音 を しょう は かいことも しょう かいこと かいこと かいこと かいこと かいこと かいこと かいこと かいこと	載をうま済ル 型にしるう 計考比験とる 地お講学光 講課的 の記知確夫 にという情報 という いのです という 自然を いっぱい 思葉されていい 思葉者 イ 目の的明工 にていて記 学国しき) な基専 という なる では という なる という なる では という なる では という	外国語学部 英米語学科[定員滅] (3年次編入学定員)[定員滅] スペイン語学科[定員滅] (3年次編科学定員)[定員滅] (3年次編科学定員)[定員滅] ドイツ語学科[定員滅] (3年次編入学定員)[定員滅] (3年次編入学定員)[定員滅] 中国語学科[定員滅] (3年次編科学定員)[定員滅] 日本語学科[定員滅] (3年次編科学定員)[定員滅] (3年次編科学定員)[定員滅] (3年次編科学定員)[定員滅] (3年次編科学定員)[定員滅] 国際教養学科(廃止) (3年次編科学定員) ※平成30年4月学生募集停止 (3年次編科学定員)	(Δ 5) (Δ 10) (Δ 4) (Δ 3) (Δ 10) (Δ 3) (Δ 10) (Δ 3) (Δ 10) (Δ 3) (Δ 10) (Δ 3) (Δ 4) (Δ 7) (Δ 10) (Δ 3) (Δ 10) (Δ 3) (Δ 4) (Δ 7) (Δ 10) (Δ 3)
"	甲南女子大学	医療栄養学部 医療栄養学科 80		兵庫県神戸市		学校法人甲南女子	子学園		・完成年度前に、員数の割合が高した。 最初の割合が高した。 東に東にすると、 事業活動するとは、 等を設向にあることと。	Nことから、定 ともに、教員 こと。 二対する教育研 記法人に比べ低	年規程の趣旨を 組織編制の将来 究経費の割合が く、また、近年	踏まえた適切 構想について 『同系統の大学 この割合が低		

区分	大 学 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位	置	設	置	者	留	意	事	項	備	考
私立	山陽学園大学	地域マネジメント学部 地域マネジメント学科	60	岡山県岡山市		学校法人 山陽学[学の充ま念計もなジ実単さこ・充忠を計した内勢により、当策大の回と内メ践なわとに外の場合で容かりの戦いで容が見るした。設定のでいるが、当策大のがの戦いを決しているの域科やが習習修体署の善いを対しているでは、	まと、ジロ 通加 シルに利 が シルに利 が の は の に の が の は の は の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の の の の の の の の の の の の	ント家 デ 大 で で で で で で で で で で で で で	いよう 大共十成にかに大で、 、 のしなき地、な教習である域に付ったのと学れ、 な教習を はいなき地、な教習を はいないないが、 はいないが、 はいないないが、 はいないが、 はいないが、 はいないが、 はいないが、 はいないが、 はいないが、 はいないが、 はいないが、 はいないないが、 はいないないが、 はいないないが、 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	総合人間学部 言語文化学科[定員滅] 生活心理学科[定員滅]	(△ 30) (△ 30)
"	岡山理科大学	獣医学部 獣医学科 獣医保健看護学科	140 60	愛媛県今治市		学校法人 加計学[うに、定員の厳	格な管理に努		
									・「総合参加型 確保するととも など時間割の組 り、参加型とし と。(獣医学科	み方や1班当た ての実習効果を	に実習する学生 りの学生数のエ	数を分散する 夫などによ		
									・「人獣共通感 いてはを使用する 程等を整備し、 (獣医学科)	ため、法令やガ	イオセーフティ· イドラインに基	ーレベルの実 づき、学内規		
									・「獣医画像診 に実習で活用す 科)	断学実習」につ! るかをシラバス!				
									・実験動物の管 確保は図られて 合を図り、正確		法の説明と図面	との関係で整		
											ら、定年規程の	趣旨を踏まえ		

区分	大 学 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位	置	設	置	者	留	意	事	項	備	考
	(岡山理科大学)								充足の改善に取 (倉敷芸術科: 学大学 薬学部 科、航空技術危	学大学 芸術学音 生命薬科学科、危機管理学科) 金(今治市)が収	ボデザイン芸術 を機管理学部環 又納予定である	学科、千葉科境危機管理学		
計	6校	(3年次編入学定員) 6学部 8学科	35 775	認可申請に伴う (3年次編入学 大 学	学定員)	部等の入 Δ 99 Δ 383	学定員の	D変更状	況 (通信教育課程) (通信教育課程)					

⁽注) 「備考」欄の()書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。